

港区立高輪台小学校
令和元年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・話を正しく聞き取ること。 ・文章を書くこと。 ・物語文や説明文の内容を読み取ること。 ・漢字を正しく読んだり書いたりすること。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題を解決すること。 ・資料を読み取り活用すること。 ・社会的事象を自分の生活と関連付けて考えること。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を正確にとらえ、式を立てたり、問題を解決したりすること。 ・自分の考えを式や図表を用いながら分かりやすく説明すること。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の意味をよく理解し、見通しをもって問題解決に取り組むこと。 ・科学的な事象を自分の生活と関連付けて考えること。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な国語の知識や技能 ・筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力 ・伝え合う力 ・考え等を書き表す力 ・国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の成り立ちなどを取り上げて興味をもたせたり、文中で漢字を正しく使えるような指導を行ったりする。 ・小テストやベーシックドリル等を活用して、漢字やローマ字の確実な習得・定着を図る。 ・読書に親しませたり、辞書を活用したりして語彙を増やす。 ・話したり聞いたりするときのポイントやルールを分かりやすく提示する。 ・ペアトークや少人数グループなど、発達段階に応じた形態での話し合い活動を取り入れる。 ・学年に応じ、叙述に即す、中心となる語や文をとらえる、段落ごとの要点をおさえるなど、具体的に指導をする。 ・日常的に文や文章を書く機会を増やし、正しい文や文章を書くことに慣れさせ、書くことへの苦手意識を取り除く。 ・「取材→構成→記述→推敲→交流」の各学習過程で、発達段階に応じた具体的な指導を行う。 ・目的をもって学習に取り組めるよう、明確で必要感のある学習課題や学習計画を設定する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題を追及する力 ・情報を選択、活用する力 ・社会的事象を自分の生活と関連付けて考える力 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味関心を引き出す導入を行い、主体的に課題を追及することができるような学習活動を設定し、問題解決の過程を重視する。 ・地図やグラフなどの資料の見方を指導し、必要な情報を選択し活用させる。 ・情報機器を活用したり、現場の方の話を聞いたりする場面を取り入れて、社会的事象への関心をもたせる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の事象を数理的に処理する技能 ・筋道を立てて考察する力 ・算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生以上の学年において、習熟度別少人数指導を取り入れ、個に応じた指導を継続的に行う ・特に低学年において、具体物やブロックを用いた活動を通して、具体的操作と言葉を結び付け、体験的に理解できるようにする。 ・児童が課題を見付けられるように問題提示を工夫する。 ・集団検討を取り入れ、様々な考えにふれられるようにする。 ・座席表を活用し、児童の考えの変容や、技能の評価を記録する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事象、現象についての理解を図り観察、実験などの基本的な技能 ・問題解決の力 ・自然を愛する心情や主体的に問題を解決しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を重視した授業を展開し、科学的な思考の仕方を指導する。 ・観察・実験記録の書き方や考察の書き方などを具体的に指導する。 ・植物の観察や自然教育園などの見学を通して、成長の様子について年間を通して観察し、植物の育ち方に対する理解を体験的に深める。 ・デジタル教材等を活用し、実感をともなった理解ができるようにする。 ・学んだことを実生活に結び付けて考えさせるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの力 ・生活の場の認識 ・自分自身への気付き 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動で、気付きについて話し合う場面を設ける。 ・子供の日常のつぶやきや発見を取り上げ、自分が見たことの意味を考えさせるようにする。 ・気付きを自覚させるために、発見したことを言葉で表現させる。 ・地域人材を活用したり、地域と関わったりする活動を、今後も継続して取り入れていく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・発声、リコーダー奏、読譜の基礎的な技能 ・思いや意図をもって聴いたり表現したりする力 主体的、協働的に音楽活動に取り組む態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の基礎基本を身に付けられるような常時活動を取り入れる。 ・ペアやグループでの活動を通して、コミュニケーション能力を高めながら音楽活動をする。 ・板書やワークシートを工夫したり、ゲストティーチャーを活用したりして、思考力や表現力を高める。 ・合唱発表会などを通して表現力を高める。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をする力 ・感性や想像力を働かせ、自分のイメージをもちながら意味や価値を創り出す力 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が考える場面と、教師が教える場面とを組み立てて、「習得、活用、探求」という学びの過程を工夫する。 ・子供が関心をもって感じ取ったり考えたりした内容を提示し、感じ方や見方を深められるようにする。 活動の流れを提示し、本時の活動のめあてや、活動のまとめについての意識をもたせる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を見つめることを通して問題を見出し、解決すべき課題を設定する力 ・身に付けた技能で課題を解決したり、家庭で実践したりすることができる力 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの生活をしっかり振り返らせた上で、進路指導や消費者教育、持続可能な社会の視点もふまえた課題を投げかける。 ・実践的、体験的な活動を重視した学習を展開する。 ・予備制作・予備調理で、児童が陥ると思われる危険や留意点を洗い出し、予め教材化する。 ・デジタル教材等を活用し、実感をともなった理解ができるようにするとともに効果的に技能を身に付けられるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・特性に応じた運動の行い方や、健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けること。 ・運動や健康についての課題を見付け、解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝える力。 ・運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して、身に付けさせたい3つの資質能力を明らかにして指導に当たる。 ・振り返りで学習カードを活用し、自己の課題を見付けさせたり、次のめあてをもたせたりする。 ・児童の様子や学習カードの記述から学習状況を見取り、適切な言葉かけを行う。 ・体育朝会で、関節の柔軟性の大切さを指導したり、股関節の柔軟性を高める運動を紹介したりし、授業でもそれらの運動を取り入れることで、柔軟性を高める。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語を進んで話したり聞いたりしようとする国際コミュニケーション力 ・外国語での会話を楽しみ、歌やゲームに進んで取り組もうとする態度。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任とNTが連携し、子供が興味・関心をもって取り組める学習活動の工夫をする。 ・音声及び映像教材の積極的な活用をする。 ・児童相互の関わりを大切にされた学習活動を取り入れる。 ・自分たちの身の回りにある異文化に、より興味をもたせるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりや自他の生命を大切にす る心 ・善悪の判断をする力 ・自律心や進んで規則を守ろうとする態度 ・進んで、より高い目標に向かって努力する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な授業や、体験的な学習を取り入れる。 ・登場人物の心情理解のみにとどまらず、自己を見つめる時間を大切にする。 ・自分の考えについて議論したり話し合ったりする授業を取り入れる。 ・考えを書けないときは、友達と同じか違うかだけでも書けるようにして、個別に支援し、少しずつ書けるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい人間関係を育成しようとする態度 ・自主的実践的に活動する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動の年間計画を見直し、計画的に話し合い活動に取り組めるようにする。 ・学級の係活動や委員会活動の活動時間を十分に確保する。 ・行事で成長したことや次に生かしたいことなどを写真などととも に掲示して自覚しやすくする。 ・運営委員会で、全校の課題を話し合う。あいさつ運動や各学級へのよびかけをすることで、課題の解決を目指す。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・課題設定の力 ・課題解決の力 ・主体的・探求的に学習活動に取り組む力 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決力を高めるために、情報収集、整理分析する方法を指導し、その良さを実感させる。 ・年間計画を綿密に立て、計画的に授業を進めるようにする。 ・プログラミング学習については、情報担当と連携し、まずは教員同士で学び合いを行い、自信をもって指導にあたる。さらに児童同士でも学年間や学級間で学び合いができるような場の設定を行う。